

民主青年新聞

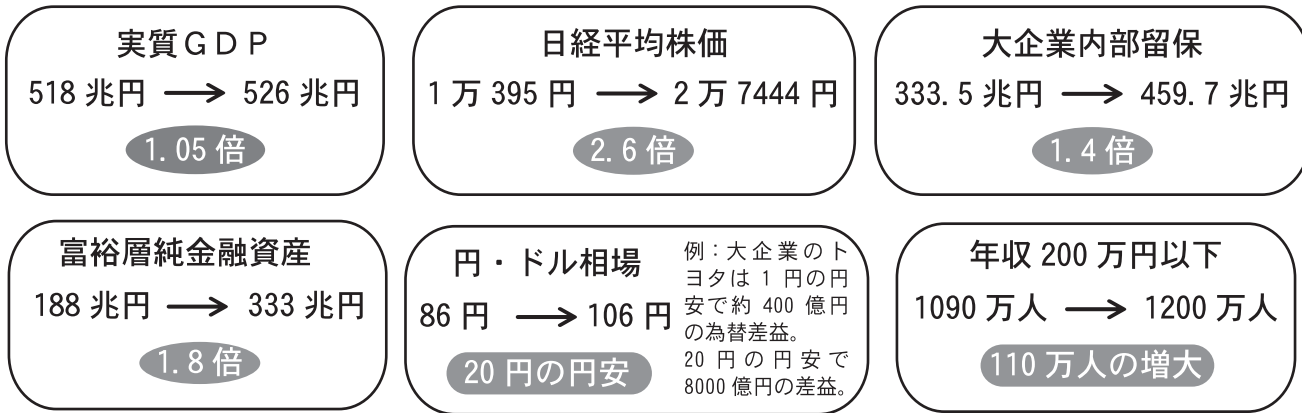
●ホームページ www.dylj.or.jp ●Eメール minsin@dylj.or.jp

見どころ

コロナ危機でも社会保障削減 「骨太の方針」2021(3面)
「助け合う」のが前提なの? 自民党改憲草案から家族関係を考える(6、7面)
パンフレット『社会は変わるし、変えられるオンラインゼミ』のすすめ (10、11面)

格差広げる「官製株式バブル」

図1 「異次元の金融緩和」下の日本の経済停滞・株高・円安・格差拡大 (2012年→20年)



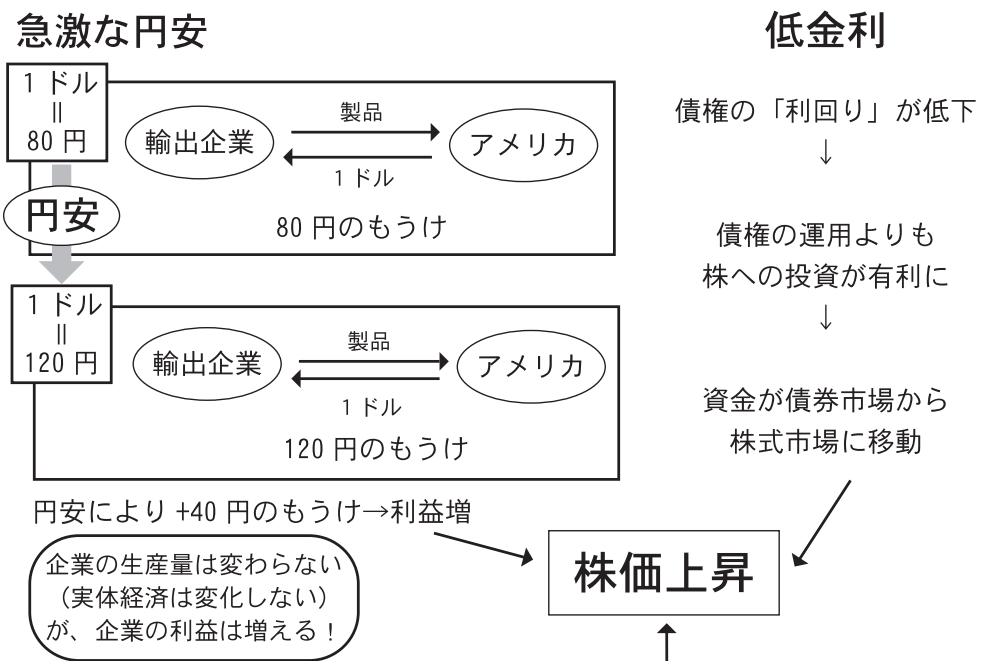
新型コロナの感染拡大で世界的に経済打撃を受ける中、大企業や富裕層の資産は増加し続け、貧富の格差が広がっています。青年に深刻な実態が広がる中、このような格差が生まれるのはなぜなのでしょう。政府の金融政策から考えます。(太田良真記者)

株高による富裕層の資産増大

コロナ危機の下でも、資産家は資産をさらに増大させてきました。アメリカの雑誌「フォーブス」は日本のピリオネア(資産を10億ドル以上保有する大富豪)

役員長兼社長)や柳井正氏(ファーストリテイリング代表取締役会長兼社長)などは株高によって大きく資産を増やしています。

図2 株価上昇のしくみ



日本の資本家や外国人投資家の投機マネー

大門実紀史「カジノミクス 『カジノ解禁』『アベ銀行』『年金積立金バクチ』の秘密」を基に作成

「官製株式バブル」が格差を生み出した

なぜここまで富裕層は急激に資産を増やすことができたのでしょうか。大きな要因は、株の上昇です。株は本来その企業の価値を表すもので、株主が投資した企業が呼び込み、株主を配当金で払われるしくみです。一方、株の変動から短期的な利益を得るために金を投じていることを投機と呼び、現在の株式市場は投機による動かしがたいです。

同時に政府は、株式市場に日銀や年金の積立金を管理運用するGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)といった公的マネーを投入し、「官製株式バブル」を誘導しています。

日銀が株の購入に年間1兆円から3兆円に増額してから年々増加し、20年度には7.1兆円、単純計算で1日に194.5億円が株式市場に投入されました。このように中央銀行が直接介入して株を買い上げているのは欧米にはない、日本だけの異常な政策です。GPIFも、株のつり上げに加担しています。14年1月のタボス会議で安倍首相は、GPIFの持つ年金積立金の株式運用を増加させることを宣言しました。

その後、海外投資家が日本株を売ると、すかさず日銀やGPIFは日本企業の株を大量に買って株価を支えました。その結果、日銀

必要なのは賃上げ

そもそも、現行の金融政策について、政府はデフレ(デフレーション)の略。物

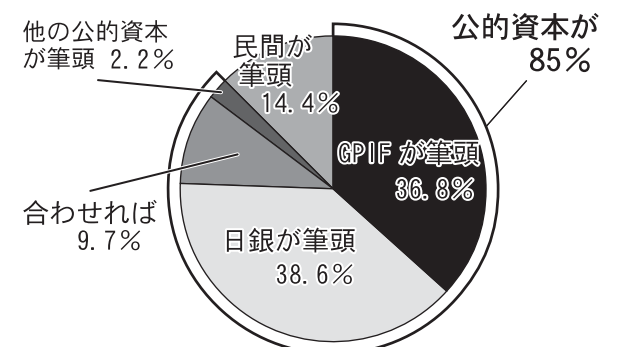
「金融バブル」が格差を生み出した

013年3月、日本の中央銀行である日本銀行(日銀)の総裁に就任した黒田東彦氏が安倍首相(当時)の意をくんでスタートさせた円安や低金利といった金融政策は、投機マネーを呼び込み、株を上昇させました(図2)。

同時に政府は、株式市場に日銀や年金の積立金を管理運用するGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)といった公的マネーを投入し、「官製株式バブル」を誘導しています。

日銀が株の購入に年間1兆円から3兆円に増額してから年々増加し、20年度には7.1兆円、単純計算で1日に194.5億円が株式市場に投入されました。このように中央銀行が直接介入して株を買い上げているのは欧米にはない、日本だけの異常な政策です。GPIFも、株のつり上げに加担しています。14年1月のタボス会議で安倍首相は、GPIFの持つ年金積立金の株式運用を増加させることを宣言しました。

図3 「日経平均」225社中の筆頭株主の割合



2020年3月末現在の推計。GPIFと日銀の保有株数(日銀は推計値)と、各企業の最新の有価証券の大株主データを比較して「筆頭株主」を判定した。20年3月期の有価証券報告書の未提出企業については、19年9月末のデータを用いた。「他の公的資本」の企業は、NTT、日本郵政、日本たばこ、東京電力HD、国際石油開発帝石の5社
「しんぶん赤旗」(2020年7月15日付)を基に作成